

2023年度 第2回太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報

令和5年12月25日付けで、「2023年度第2回太平洋いわし類・マアジ・さば類長期漁海況予報（2024年1月～6月）」が発表されました。本予報は、北海道～鹿児島県までの水産試験研究機関がデータを持ち寄り、国立研究開発法人 水産研究・教育機構が取りまとめ、九州～常磐南部までの黒潮流路を主とした海況予測と、マイワシ、カタクチイワシ、ウルメイワシ、マアジ、マサバ・ゴマサバの漁況予測を行ったものです。宮城県海域に係る予報が出されたのは、マイワシ、カタクチイワシ、マサバ及びゴマサバで、予報内容は以下のとおりです。

〈今後の見通し（2024年1月～6月）〉

●海況（対象海域：房総～常磐南部海域）

見通し：房総～常磐南部海域は「平年並」～「高め」で推移する。

●マイワシ（対象海域：房総～三陸海域、道東海域 対象漁業：まき網、定置網）

(1)来遊量：前年並～上回る。

(2)漁期・漁場：まき網の漁場は、1月～5月は犬吠埼沖～常磐海域で形成され、5月下旬以降は三陸海域、6月下旬には道東海域にも形成される。定置網は、仙台湾～三陸南部海域において、期を通じて漁獲される。

(3)魚体：10 cm～16 cm 前後（1歳魚）、13 cm～19 cm 前後（2歳魚）、16 cm～20 cm 前後（3歳魚）、17 cm 以上（4歳魚）。

●カタクチイワシ（対象海域：房総～三陸海域、道東海域 対象漁業：まき網、定置網）

(1)来遊量：房総海域では1月～3月は前年並だが、4月～6月は予測困難。三陸南部海域では前年を上回る。常磐海域、三陸北部海域ではまとまった漁獲がない。道東海域では主たる漁獲対象とならない。

(2)漁期・漁場：房総海域の2 そうまき網により1月～3月に期を通じて漁獲されるが、4月～6月は現時点では予測が困難。三陸南部海域の定置網により2月までと5月以降に漁獲される。常磐～房総海域の1 そうまき網による主な漁獲対象にはならない。

(3)魚体：7 cm～11 cm の1歳魚を主体に、9 cm～13 cm の2歳魚、12 cm～14 cm の3歳魚が漁獲される。

●マサバ及びゴマサバ（対象海域：犬吠～三陸海域 対象漁業：まき網、定置網、底びき網）

(1)来遊量：マサバ1歳魚は前年を下回る。2歳魚は前年を下回る。3歳魚は前年を上回る。4歳魚は前年を上回る。5歳魚は前年を下回る。6歳以上は前年を上回る。マサバはまき網では低調であった前年並、定置網、底びき網では前年並。ゴマサバは混獲される程度。サバ類全体としては低調であった前年並。

(2)漁期・漁場：まき網では期を通じて犬吠埼沖～常磐南部海域が主漁場となり、期後半には三陸南部海域にも漁場が形成される。三陸海域の定置網では1月、2月および4月以降に漁獲される。三陸海域の底びき網では期を通じて漁獲される。

(3)魚体：マサバは、期を通じて22 cm～33 cm（3歳以下）主体に、1月、2月および4月以降は27 cm～39 cm（4歳以上）も漁獲される。

※ 詳細については、国立研究開発法人 水産研究・教育機構ホームページ (<http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/index.html>) に掲載されております。